記者発表資料

平成２４年１月１３日
国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所
宮城県土木部港湾課
仙台国際貿易港整備利用促進協議会

「仙台塩釜港高砂コンテナターミナル２号岸壁供用・北米航路再開式典」を開催します

仙台塩釜港高砂コンテナターミナルの業務は、高砂１号ふ頭において昨年６月から再開していましたが、高砂２号ふ頭については、平成２４年度末の完全復旧を目標に国と県が災害復旧工事を進めているところで、今般、岸壁延長３３０ｍのうち２７０ｍが使用可能となったほか、ガントリークレーン１・２号機に加えて４号機が稼働可能となり、本日１３日より供用を再開いたします。

つきましては、高砂２号岸壁の供用再開と※既にお知らせしております今月２２日に再開される北米西岸／東南アジア航路の仙台塩釜港への寄港を記念して、下記のとおり式典を開催いたします。

※平成23年12月22日 宮城県土木部港湾課発表

記

○ 式典の内容

１．日時　平成２４年１月２２日（日）１２時３０分～１３時００分
ただし、第一船入港にかかる報道公開を１０時３０分（予定）から行う。

２．主催　国土交通省東北地方整備局 塩釜港湾･空港整備事務所
宮　城　県
仙台国際貿易港整備利用促進協議会

３．場所　仙台塩釜港（仙台港区）高砂コンテナターミナル内

４．内容　岸壁供用及び大型コンテナ船入港歓迎セレモニー
（第一船の入港及び荷役の模様を報道公開いたします。）

○ 取材の申し込み方法

高砂コンテナターミナルは保安対策上、立入制限区域となっております。現場での取材を希望される場合は、事前登録が必要となりますので、平成２４年１月１８日（水）までに別紙により宮城県土木部港湾課あてに申し込み願います。

なお、現時点では、入港時間については未定ですので、取材の申込みのあった方に対し、集合場所・時間等を前日にお知らせします。また、既にお知らせしております北米航路再開に関して取材を申し込まれた方については、お手数ですが、改めて申し込み願います。

《発表記者会；宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会》

【申し込み・問い合わせ先】
宮城県土木部港湾課　振興班　川越主幹、三浦主任主査
電　話　：０２２－２１１－３２２１
ＦＡＸ　：０２２－２１１－３２９６

○ 式典会場ご案内





○ 高砂2号岸壁（水深14m）の復旧状況

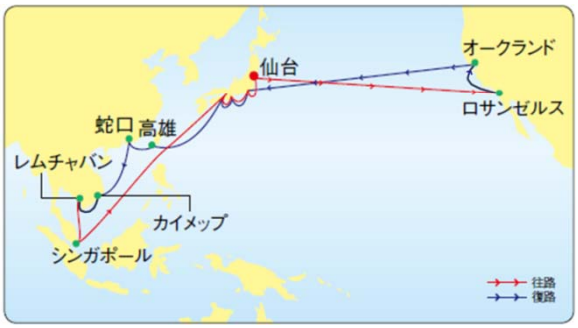




○ 寄港予定の大型コンテナ船



＜船舶諸元＞
船長　　約300m
喫水　　14m
総トン数　約75,500t
積載能力　6,200TEU ※
※TEU (twenty-foot equivalent unit)：20ﾌｨｰﾄｺﾝﾃﾅ（5.9m×2.3m×2.3m）を1TEUとした単位



仙台（日）→ロサンゼルス→オークランド
→東京→名古屋→神戸→高雄→蛇口→
カイメップ→レムチャバン→シンガポール
→神戸→名古屋→東京→**仙台（日）**

宛　　先：宮城県土木部港湾課振興班
ＦＡＸ番号：０２２－２１１－３２９６

取材申込書

案　件：「仙台塩釜港高砂コンテナターミナル２号岸壁供用・北米航路再開式典」
日　時：平成２４年１月２２日（日）午前１０時３０分（予定）から
※　船舶の入港及び荷役開始時刻等については、取材の申し込みがあった方に対し、集合場所等も含め前日までにお知らせします。
場　所：仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル内

会　社　名	氏　　名	使用車両（ナンバー）

※連絡先（TEL）：
（FAX）：
（e-mail）：
※　前日、１月２１日（土）に集合場所及び時間をお知らせいたしますので、２１日（土）に連絡が取れる連絡先を記入願います。